



まなびいカフェトーク Open!

〈手作りお菓子も♡〉

4月に入園・入学、進級してはや3か月。子どもたちは落ち着いたように見えて、悩める問題が出てきたり、心配な様子が見えたり…
親としてどうしたものじゃろのお???
え〜い、そんなことは吐き出しちゃおう! ということで、まなびいカフェトーク第1弾が、中央公民館和室で開催されました。(参加人数: 15人)



〈中学生以上の子を持つ親チーム〉

中学に入って初めてのテスト、気になるわぁ

部活もいろいろと大変みたい、先生によって力の入れ方が違うし、先輩、後輩関係もねえ…

身体と心がアンバランスで、イライラ、ダラダラ(=)

中学生って一番大変な時かもねえ、中学生になったからって、まるっきり手を離してはダメですよ

今一番気になることは、やっぱり“ゲーム”!

ゲームやってないと、話が合わなかったり、仲間に入れてもらえなかったり

ルール決めたのに守らなかったり(=_=)

ゲームに代わる楽しいことに夢中になれるといいな



〈園児・小学生の子を持つ親チーム〉

〈アンケートより〉

- ・同世代の子どもを持つ親として、いろんな体験話を聞くことができ、とても勉強になりました。
- ・いろいろと話をしてみて、自分の子どものことをよく考えてみようと思いました。
- ・子どもの同年代の親と話す今日のような機会がたくさんあるといいです。
- ・子育てが一段落した方のお子さんのエピソード、経験談などのお話が聞きたいです。

コラムまなびい



「がんばっているね」という言葉

もうすぐ夏休み! 子どもたちにとって待ち焦がれたお休みは親にとっては試練の時かもしれませんね。「普段のお休みでも毎日ゴロゴロしてゲームばかりで宿題も全然やる気配がない! ちっともがんばっていないわ〜」となげいているお母さん! 子どもなりに色々苦勞していることがあるのです。学校に行ったらいじめにあわないかと思って人に気を遣ったり、家に帰ったらガミガミ言われるのを一生懸命、忍耐している…子どもなりにがんばっているのです。

そういう子どもに「がんばれ、がんばれ」だけじゃなく「おまえもけっこうがんばっているね、ご苦勞さま」と言ったほうが、かえって元気がでてくるものではないでしょうか?

「がんばれ」という言葉は相手を選びます。言っているいい人と言っているはいけない人がいます。だけど「がんばっているね」「よくがんばったね。」という言葉は言っているいい人はほとんどありません。「がんばれ」よりも「がんばっているね」と相手のがんばりを認めてねぎらう言葉を、よく使うようにしてみたらいかがでしょうか。この夏休み、ぜひそんな声かけをしてみてください。

子育てハッピーアドバイスより一部抜粋